

# 枝川の本棚

枝川スタッフが選んだおすすめ本



## ★12月のピックアップ

『ことばで愛し、ことばでたたかう』

持田叙子/著 岩波書店

ISBN: 978-4-00-501003-5



ことばは人を傷つけもすれば、支えにもなります。本書で紹介されている力強いことばー「戦争も軍隊も心の自由はうばえない。」ーからは、どんなに強い力によって行動を強制されても、「考えること」だけは誰にも奪われないと改めて気づかされます。

愛するために、自分を守るために、私たちはことばをどう使うのか。あなたのの中にもきっとある、優しいことば、戦うことばを探してみませんか。

## 一般書

### 『うさぎっしり事典』

森山しなこ/絵 グラフィック社編集部/編

グラフィック社

ISBN: 978-4-7661-3943-3

なぜ月にはうさぎがいると言われているのでしょうか。日本ではどうして「うさぎ」と呼ばれるようになったのでしょうか。あの絵画に描かれたうさぎの意味は?「Mein name ist hase. (私の名前はうさぎです)」これってどんな意味の言葉?

様々な文化・国の文字、美術、伝説、言葉とかわいいイラストでうさぎという存在が人間にどのように影響を与えてきたのかを描き出します。



### 『アルファベット順の文化史』

ジュディス・フランダース/著 星慧子/訳 原書房

ISBN: 978-4-562-07570-6

レコードの「A面・B面」や「B級グルメ」など、私たちは普段の生活の中で無意識にアルファベットの頭文字を用いた情報の整理や順位付けをしています。

本書では、文字の発生からアルファベットの順序と定着の歴史や、図書館の本などの分類方法の変遷について解説しています。ぜひお近くの図書館で、棚の本の分類方法を見てみてください♪





# 児童書

『クリスマスのくつした』

エリナー・ファージョン/詩 石津ちひろ/訳  
ほりかわりまこ/絵 のら書店

ISBN: 978-4-905015-85-7

だんろの前でチクタクと時計がなる夜。小さなくつしたにはどんなおくりものがとどくのかな？

ページをめくるたび、クリスマスのワクワクが伝わります。女の子と同じように、あたたかい家の中にいる気分になるよ。クリスマスの夢がぎゅっとつまつた、たのしい夜のおはなしです。

0～5歳向け



『オオカミのひみつのひみつ』

内田麟太郎/文 飯野和好/絵 ひかりのくに

ISBN: 978-4-564-01965-4

森にいる「いっぴきオオカミ」たちは、だれともあそびません。まわりがオオカミだらけになっても、月にむかっていっしょにほえても、ねむる時にみんなおなじ寝ごとを言っていても・・。やっぱりだれともあそばないのです。

でも、アライグマのばあさまだけは知っています。オオカミたちの寝ごとは「ひみつのひみつ」だってこと！

0～5歳向け



# YA(ヤングアダルト)

『ボクは日本一かっこいいトイレ清掃員』

大井朋幸/著 岩波書店

ISBN: 978-4-00-501001-1



岩波ジュニア新書



奥多摩に「OPT（オピト）」というトイレ清掃チームがいるのを知っていますか？たくさんの観光客が利用する公衆トイレを、床で寝れる（！？）くらいピカピカにしているんです。

トイレは誰もが使うものです。清潔で安全なトイレがあるのは当たり前ではなく、掃除する人がいるからです。日本一を目指して、代表の大井さんは今日もトイレを磨きます。 中学生～高校生向け



枝川図書サービスコーナー

江東区枝川 3-6-16(枝川区民館内) 【TEL・FAX】 03-3647-6860

[開館時間] 9時～17時 [休館日] 月曜日・第3金曜日・祝日

2025年12月発行